

中津市民病院化学療法レジメン  
【レジメンNo】S-G10

申請日	2012/5/10	承認日	委員長	印
レジメン登録	2012/5/10(見直し2020/2/28)	仮承認日	承認者	印

S-1+Trastuzumab 療法	病名	胃癌	外科	提出医	Dr
<b>対象</b>	治癒切除不能な進行・再発胃癌 一次治療以降(【S-G7】SOX+Trastuzumabの維持療法として)				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)															
			1	5	10	15	20	25	30									
ハーセプチン (トラスツズマブ)	初回8mg/kg	div	○															
	2回目以降6mg/kg	div																
S-1	※	po(朝)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	※	po(夕)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

投与間隔・休薬期間等: **42日=1コース**  
 ハーセプチンは3週ごと  
 S-1は4週間内服2週間休薬

【投与処方例(前投薬など)】

\*ハーセプチン開始前に、心エコー・心電図検査を行うこと。また、3ヶ月に1回評価を行うこと。

**ボナフェック坐剤(12.5~50mg)挿肛(初回量時のみ)**

- ① メインキープ【緑】 生理食塩液250mL / div
- ② メイン【赤】 生理食塩液250mL+ハーセプチン /div 初回90分、2回目以降30分  
終了後、メインの生理食塩液を流す。

\* 腎機能低下時の減量方法については、クレアチンクリアランスに応じて、S-1の投与量を変更すること

Ccr60～80mL/min 初回量より必要に応じて1段階減量

Ccr40～59mL/min 原則として1段階減量

Ccr30～39mL/min 原則として2段階減量

Ccr30以下は禁忌

### ※S-1の内服量

血液毒性・非血液毒性発現時の休薬・減量・再開基準を参考にする。

体表面積	1回用量※	1段階減量	2段階減量
～<1.25m <sup>2</sup>	40mg/回	30mg/回	25mg/回
1.25m <sup>2</sup> ≦～<1.5m <sup>2</sup>	50mg/回	40mg/回	30mg/回
1.5m <sup>2</sup> ≦～	60mg/回	50mg/回	40mg/回